

パブリックコメント結果、今後の熊本地域公共交通計画の推進について

1.パブリックコメント結果

- 令和3年2月9日～令和3年3月8日に熊本地域公共交通計画（素案）に対するパブリックコメントを実施
- 2名から7件のご意見をいただき、以下のとおり本市の考え方を整理

	パブリックコメントでの主な意見	本市の考え方	対応
地域の現状 第2章	(近隣自治体との連携について) 人の移動について、結びつきの強い自治体との具体的な連携はどのように図っていくのか。	持続可能な公共交通の形成にあたっては、近隣自治体等との強固な連携関係の構築が重要。 関連計画との整合や法定協議会の中での意見交換等を行いながら、近隣自治体との具体的な連携について検討を進める。	既記載 (88頁)
等上位計画の整理 第3章	(都市交通マスタープランとの整合性について) 地域核に光の森があがっているが、整合はどのようにとっていくのか。	楠・光の森方面については、基幹公共交通軸として位置づけ、熊本都市圏都市交通マスタープランとの連携・整合を図ることとしている。	既記載 (107頁)
目標達成の施策・事業 第7章	(ゾーンシステムの乗換拠点について) 8つの基幹公共交通軸が設定されているが、定時性や速達性に優れる鉄軌道の延伸を進めることで、ゾーンシステムの乗換拠点を基本的には鉄道駅や市電の電停とすべきではないか。	鉄軌道は定時性や速達性に優れているが、現状において鉄軌道がない基幹公共交通軸もある。そこで、バスの定時性や速達性の強化を進め、鉄軌道とバスで基幹公共交通軸を担うこととしており、ゾーンシステムの乗換拠点は駅・電停・バス停としている。また、市電延伸等についても検討を進める。	事業参考
その他	・東バイパスライナーのルートについて ・西区役所へのバスのダイヤ等について	東バイパスライナーのルートについては、利便性向上にむけ利用実態等を踏まえ検討する。ご意見に関しては関係者と共有し、今後の事業の参考とする。	事業参考
	・バス停の設置、移設について（2件）	ご意見については関係者と共有する。	その他

2.熊本地域公共交通計画の推進について

- 計画に記載の事業を着実に進めつつ、新しい取組についても積極的に展開するため、関係者相互の役割分担や連携強化を行い、熊本地域公共交通計画の推進を図る。
- 次年度以降は、事業管理シート等を用いて、各個別事業の実施状況や目標値の推移等を関係者間で共有し、議論した内容を必要に応じて事業に反映する。